

令和4年度長崎県高等学校新人体育大会

第31回ボクシング競技大会実施要項

- 1 主催
長崎県高等学校体育連盟 長崎県教育委員会 長崎県ボクシング連盟
- 2 主管
長崎県高等学校体育連盟ボクシング専門部
- 3 期日
(1) 開会式 令和4年10月22日(土) 実施なし(コロナ感染対策)
(2) 競技 令和4年10月22日(土)～23日(日)・30日(日)
(3) 閉会式 令和4年10月30日(日) 競技終了後 団体のみ表彰
- 4 会場
長崎市諏訪体育館ボクシング場・柔道場(控え室)・剣道場(アップ場)
- 5 階級
ピン級からミドル級までの8階級
・ピン 級 44 kg 超過 46 kg まで
・ライトフライ 級 46 kg 超過 49 kg まで
・フライ 級 49 kg 超過 52 kg まで
・バンタム 級 52 kg 超過 56 kg まで
・ライト 級 56 kg 超過 60 kg まで
・ライトウェルター級 級 60 kg 超過 64 kg まで
・ウェルター 級 64 kg 超過 69 kg まで
・ミドル 級 69 kg 超過 75 kg まで

6 競技日程

期 日	時 間	項 目	会 場
10月15日 (土)	13:00	組合せ抽選会	諏訪体育館内 ボクシング場
10月22日 (土)	8:30 8:50 9:00 10:00 12:00	スポーツエントリーズチェック(監督) 受付 健診・計量(出場選手のみ) 監督会議 競技開始(各階級1回戦)	諏訪体育館 ボクシング場
10月23日 (日)	8:50 9:00 12:00	受付 健診・計量(出場選手のみ) 競技開始(各階級2回戦)	
10月30日 (日)	8:50 9:00 12:00	受付 健診・計量(出場選手のみ) 競技開始(各階級3回戦) 閉会式(競技終了後)	

※受付を健診・計量の10分前に行う。健診開始時間に間に合わなければ失格とする。

※10月22日(土)より各階級トーナメントを実施し、決勝日を揃えることはしない。参加人数が少ない場合は、23日(日)に終わる場合あり。

- 7 競技規則
(一社)日本ボクシング連盟競技規則を適用する。
- 8 競技方法
(1) 個人戦とするが、学校対抗を兼ねる。
(2) トーナメント方式で行い、優勝、準優勝、及び第3位を決定する。ただし、3位決定戦は行わない。
- 9 得点規定
(1) 抽選の不戦勝を除いて1勝毎に1点を加点する。
(2) 優勝には5点、準優勝には3点を加点する。

1 0 学校順位決定の方法

- (1) 個人の得点の合計点で決定する。
- (2) 同点の場合は、優勝の数による。
- (3) (2) が同点の場合は、準優勝の数による。
- (4) (3) が同点の場合は、3位の数による。
- (5) (4) で決定できない場合は、同位とする。
- (6) 全日制課程、定時制課程および通信制課程は区別する。

1 1 引率・監督

- (1) 引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、県高等学校体育連盟会長に事前に届けること。
- (2) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

1 2 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟及び長崎県ボクシング連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により大会参加の資格を得た者に限る。
- (3) 年齢は、平成16年4月2日以降に生まれた者で、1・2年在学生徒に限る。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 転校・転籍後6ヶ月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 出場する選手は、本年度の総合健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。出場する選手は、選手手帳の本年度分「健康診断記録」に必要事項が記載され、捺印がされていること。
- (6) 申し込み日までに、(一社)日本ボクシング連盟へ令和4年度の登録済みもしくは申請中の生徒に限る。(未登録[申請]者は申し込みを受け付けない。)
- (7) 選手は、選手手帳の携行を必要とする。不携行の場合は出場させない。なお、競技会場において選手手帳を忘れた選手には新たな更新を行わせない。よって、選手手帳不備のものは事前に準備すること。
 - ア 選手手帳は、決勝まで記入できる記録欄があること(コピーは不可)。途中で記録欄がなくなった場合は、失格とする。
 - イ 選手手帳を更新した場合、前の手帳も持参すること。持参しない場合は失格とする。
 - ウ 選手手帳には必ず写真を貼付すること。写真のない場合は失格とする。
- (8) 初登録選手は、実戦練習期間が6ヶ月を経過し、指導者が出場可能と認めた場合、本大会に出場することができる。その際、「実戦競技出場資格証明書」を参加申込書と一緒に提出すること。

1 3 参加制限

- (1) 各校各階級2名までとする。(全日制課程、定時制課程及び通信制課程は別とする。)
- (2) 監督、コーチ、チーフセカンド、サブセカンド(生徒)は、各校もしくは所属先で行い、引率責任者1名とする。
 - ア 監督、コーチ、チーフセカンドは(一社)日本ボクシング連盟に登録し、セカンド資格を有している者のみとする。
 - イ 未登録の引率者のみの参加の場合、競技中のチーフセカンド・サブセカンド業務を他の登録者に依頼してもかまわない。
- (3) 外国人留学生の参加については、「実エントリー数の20%」までとする。
- (4) セカンド
 - ア 日本連盟「公認セカンド制度」に関する規定に準ずる。
 - イ 日本連盟に今年度登録済みで、セカンド資格の有取得者であること。
 - ウ チーフセカンドは20歳以上の日本ボクシング連盟に登録済みの者で、C級以上のセカンド資格を有していること。また、大会時に実施するインテグリティ研修に参加しなければならない。
 - エ セカンド資格を有していない場合でも、日本連盟登録者は、アシスタントセカンドとして、セカンドの補助(椅子出し入れ・うがい補助マウスピース洗浄)をセカンドエリア内にて行うことができる。但し、競技者の安全にかかわる緊急の場合を除き、リング上およびリングエリア内に立ち入ることはできない。

1 4 参加申込

- ※ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

- (1) 申込締切 令和4年10月13日(木) 16:00
 - (2) 長崎県高等学校体育連盟ホームページより、オンライン申し込みを行い、参加申込書を作成する。プリントアウトし学校長の承認をうけて期日までに下記あてに送付する。
 - (3) 申込先 〒850-0991 長崎市末石町157番地1
長崎県高等学校体育連盟ボクシング専門部(県立長崎鶴洋高等学校)
ボクシング専門委員長 古賀 嘉朗
- ※ 初試合の選手は、実践競技出場資格証明書を添付すること。

1.5 参加負担金

- (1) 1名 500円
- (2) 納入方法
10月13日(木)までに各学校でとりまとめ振り込むこと。振込依頼人名義は、学校名とすること。なお、振込手数料は申込者の負担とする。
- (3) 納入先

口座番号	十八親和銀行 深堀支店 普通1070446
	カガサケンコウタイノボクシングセンモンブ プチョウ 木ノ ショウジ
	長崎県高体連ボクシング専門部 部長 岡野 祥士

- (4) 参加取消に伴う納入金の取扱
 - ア 参加申込期限日までの取消については返金する。
 - イ 参加申込期限日後の取消については返金しない。

1.6 選手変更

申込後の選手及び階級の変更は一切受け付けない。

1.7 表彰

- (1) 個人表彰：各階級優勝者、準優勝者、3位(2名)の各選手を表彰する。各試合後リング上で行う。
- (2) 各階級の優勝・準優勝した選手は、全九州大会の出場権を得る。
- (3) 学校表彰：優勝、準優勝、3位の各学校を表彰する。優勝校には長崎県高体連優勝旗及び長崎県ボクシング連盟優勝カップを授与する。
- (4) 学校表彰は、全試合終了後発表し、該当校のみでリング上で表彰を行う。

1.8 注意事項<重要>

- (1) 次のものを各自で必ず持参すること。
 - ア 選手手帳
健康診断記録のページの必要な項目の健診を受診しておくこと。また、CTに関しては所定の記録用紙を手帳に添付しておくこと。
 - イ 競技用のヘッドガード(劣化していない競技用に限る)
前頭部及び側頭部に学校名等(刺繍も含む)の記入が無いもの。また、日本ボクシング連盟とAIBAの検定品で競技用に限る。
※持っていない場合は連盟で準備しているため、相談すること。
 - ウ カッププロテクター
着用しない場合は失格とする。
 - エ 競技用ユニフォーム、シューズ。
 - オ ガムシールド(マウスピース)
赤色及び赤色系統の色が含まれたものは使用不可。着用しない場合は失格とする。
 - カ バンテージ
日本ボクシング連盟検定品を使用すること。違反が認められた場合は失格とする。
 - キ 健康申告書
必要事項を各自で記入し、引率責任者または指導者に記名してもらうこと。
- (2) 毛髪などについては、「日本ボクシング連盟医事ハンドブック 10-2 毛髪、10-3 ひげ・つけまつげ、10-4 刺青」の項を厳守すること。

10-2 毛髪

前額部を覆う長髪は視野を制限し、眼球障害を引き起こしてしまう。長髪の場合はゴム等で適切にまとめ、目に入らない様にしなくてはならない。ヘッドガードを使用する場合はヘアネットかスイミングキャップをかぶってまとめた後に装着しなくてはならない。ヘアピンなどのアクセサリは使用してはならない。

10-3 ひげ・つけまつげ

クリンチの際、ひげやつけまつげは対戦相手の目に入り角膜擦過傷を引き起こす危険性があるため禁止である。口髭・あご髭はきれいに剃らなければならない。

10-4 身体装飾品・器械、入れ墨・タトゥー

ボクシング競技では、ピアスなどの身体装飾品の装着は認められない。また、身体の

どの部位についても、サイズの大小にかかわらず、入れ墨・タトゥーは認められない。シールも同様である。なお、植え込み器械（電子機器を含む）または身体機能を変える可能性のある器械の装着については、循環器専門医の許可（診断書）があれば、要注意下に競技可能である。

(3) 競技用ユニフォーム

ア 競技会ではコーナーカラーのユニフォーム(赤:Pantone185、199、485 青:Pantone286、293、661)に限る。ベルトライ（へそと臀部の頂点を結んだ線）は白色またはトランクス、ランニングとはっきりと違う色で6 cmから10 cm幅でなければならない。また、製造企業ロゴの面積は、トランクス・ランニングにそれぞれ一カ所で30平方 cm以内とする。ロゴの「最大幅×最大高さ」の四角形をその面積とする。

イ 競技時の運動・接触等により、ゼッケンが剥がれ落ち、競技の妨げとなる懸念があるためゼッケンは取り付けないこと。ただし、プリントや刺繍されているものに関してはそのままよい。

ウ トランクスの丈はヒザ頭が全部見えること。

(4) 競技中の疾病、傷害などの応急処理は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

(5) 引率責任者は、選手の行動に対しての全ての責任を負うものとし、選手は高校生としての本分を忘れてはならない。

(6) 選手、監督等は健康保険証を持参すること。

(7) スポーツエントリーズチェックにおいては、監督・コーチまたはチーフセカンドが参加し、選手手帳・健康申告書・ユニフォーム（赤・青）を持参することとし、不携行の場合は出場させない。（選手は参加不要）

1.9 新型コロナウイルス感染症対策について

ア 試合当日に健康申告書を持参・提出し、大会運営ドクターのメディカルチェックを受ける。

イ 試合当日体温が37.5度以上ある場合は、再検査を実施せず失格とし、速やかに帰宅させる。

ウ 競技終了後は、使用したヘッドガード・グローブ等はセカンドがアルコール消毒する。

エ 大会役員、競技役員、引率顧問、監督、セカンド、選手、補助員、関係保護者（事前申請者）にIDカードを発行し、それ以外の者は入場を禁止する。